

町政を問う!!

11 議員が質問・提案を

支所移転

佐賀支所を東公園へ

事前復興計画で検討



やまもと ひさお 議員
山本 久夫 議員

問 令和2年6月議会において、佐賀支所の移転および対応拠点の充実について質問した。移転については、土地の確保等が困難な状況であり時間を要する問題と考えていたが、現在、佐賀地区の東公園の見直しを検討され、公園区域からの除外や利活用等について、県および関係者によって協議されている。公園の見直しが実施されるのであれば、併せて佐賀支所を東公園へ移転

する計画を検討すること
も必要ではないかと考
える。
現佐賀支所からの距離
や位置から考えても町民
からの賛同を得られやす
い場所であると思う。
規模的にも現支所より
小規模のもので対応可能
であり、出来れば複合的
な建物にすることで備蓄
品の保管や短期間の避難
場所となる構造とするこ
ともできるが、町として
公園への佐賀支所の移転
計画を策定する考えはな
いか。

A 松本町長
佐賀支所の移転につい
ては、佐賀地域の全体像
を描く中で検討すること
が必要と考える。
現在、県が事前復興ま
ちづくり計画の作成指針

を取りまとめており、今
年度中に完了予定である。
その指針を参考にしな
がら佐賀地域の事前復興
まちづくり計画を作成し
佐賀支所の位置や施設
あるいは構造機能を検討
し計画するのが良いので
はないかと考える。
佐賀支所移転候補地と
しての東公園については、
当然、県や国との慎重な
協議が必要である。



東公園の多目的広場

学校給食

無償化を

検討課題でない

問 学校給食費の無償化

の質問は、令和元年9月、
令和2年12月議会にも質
問したが、その都度、検
討と協議を行うとの答弁
だった。

学校給食費については
令和2年度において、全
体の児童生徒数が575
名、給食費が約2860
万円になっている。
その内、公費負担額が
約806万円で28・2%
と年々少しだが増加傾向
になっている。

児童生徒数も平成30年
度が623名、令和元年
度が585名、令和2年度
が575名と減少をして

いる。

こうした状況も踏まえ
子育て支援策として、学
校給食費の無償化につい
て考えても良い時期では
ないかと考える。

また、財源については、
ふるさと納税寄付金を充
当する事を提案するが、
町長の考えを問う。

A 松本町長

学校給食の無償化につ
いては、教育施策の優先
順位から考えても現在の
ところ教育課題としては
考えていない。

子育て支援施策として
の検討は、別途必要と考
えている。

現在、黒潮町では第二
期黒潮子ども子育て支
援計画を令和2年度から
令和6年度の計画を策定
し実施しているが、学校
給食費の無償化について
の記載はない。

財源については、子育
て支援施策等を総合的に
判断し財政シミュレー
ションの中で判断し検討
する。